

2021年度島根県の被保険者及び医療費等の状況

2021年度の全保険者のデータを含む「NDBデータ」(※)を基に、本県の被保険者及び医療費等の現状をとりまとめたものです。

※厚生労働省所管の電子化されたレセプト情報並びに特定健診・特定保健指導情報を蓄積したデータ「レセプト情報・特定健診等情報データ」の通称

1. 島根県の保険者種類別被保険者数	P. 1
2. 島根県の年齢階層別医療費等	P. 2
3. 島根県の疾病分類別医療費等	P. 4
(1) 入院医療費及び件数	P. 4
(2) 外来医療費及び件数	P. 11
4. 医療費等に関するまとめ	P. 18

1. 島根県の保険者種類別被保険者数

島根県の2021年度の保険種類別の被保険者数及びその割合については、以下のとおりである。

- ・被保険者（※）のうち被用者保険＋国保組合の割合が最も大きい（62.5%）

※）被用者保険の被保険者には、被扶養者を含む

- ・国保は前期高齢者（65～74歳）が大部分を占める（58.0%）

・今後は、団塊の世代が75歳以上となってくるため、後期高齢者の割合の増加と国保、被用者保険は被保険者数の減少が見込まれ、全体的に被保険者の高齢化が見込まれる。

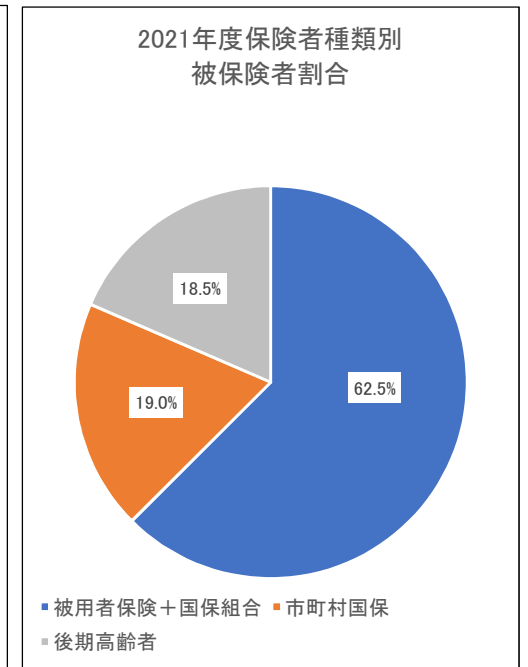
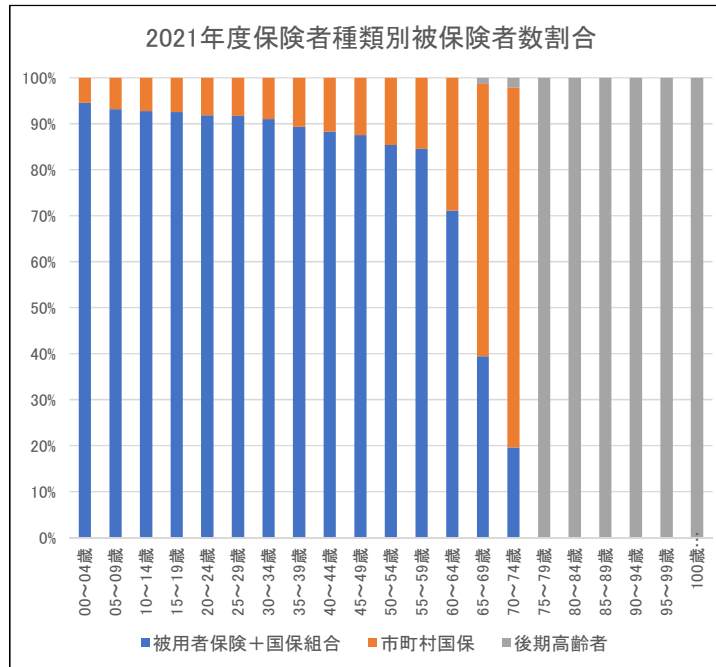
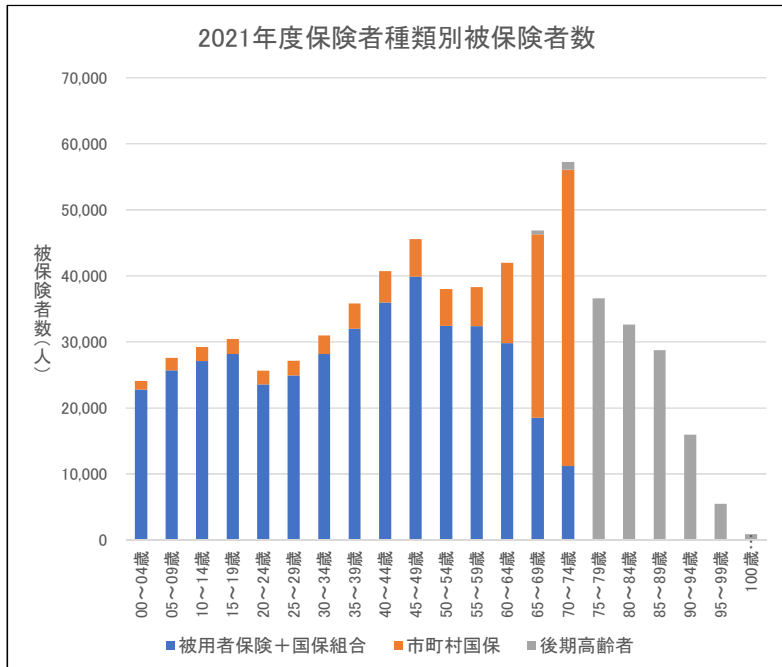
○2021年度 保険者種類別被保険者数（島根県）

（単位：人）

	計	00～04歳	05～09歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上
被用者保険＋国保組合	412,677	22,808	25,697	27,111	28,185	23,555	24,914	28,196	31,991	35,967	39,879	32,439	32,377	29,837	18,509	11,212	0	0	0	0	0	0
市町村国保	125,274	1,318	1,881	2,133	2,281	2,092	2,248	2,795	3,828	4,748	5,671	5,556	5,937	12,141	27,764	44,881	0	0	0	0	0	0
後期高齢者	122,191	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	628	1,185	36,627	32,630	28,777	15,951	5,507	886	
島根県 計	660,142	24,126	27,578	29,244	30,466	25,647	27,162	30,991	35,819	40,715	45,550	37,995	38,314	41,978	46,901	57,278	36,627	32,630	28,777	15,951	5,507	886

※NDBデータを基に作成

※被用者保険の被保険者には、被扶養者を含む



2. 島根県の年齢階層別医療費等（全保険者）

2021年度 NDB データより県内の全保険者の医療費及びレセプト件数については、以下の傾向がある。

・入院医療費は、全国平均の 1.1 倍程度で、80～84 歳の年齢階層までは島根県の医療費が多く、特に 20～24 歳から 75～79 歳までで全国平均と差が大きい。後期高齢者の 85～89 歳より高齢になると島根県の方が少なくなる。（表Ⅲ－2、図Ⅳ－1）

介護認定を受け、医療保険から介護保険（介護サービス）で対応する割合が島根県の方が高くなっていることが考えられる。また、県外への転入・転出状況から 80～84 歳以上の年齢階層から県外転出者が多くなっていることから、健康に不安を感じる高齢者が近親者を頼って県外へ転出等することで、この年代の 1 人当たり医療費が全国平均よりも抑えられている可能性も考えられる。

・外来医療費（※）は、全年齢階層では全国平均とほぼ同額であり、65～69 歳までの階層では全国平均よりも多いが、80～84 歳より高齢の年齢階層では少なくなっている。（表Ⅲ－3、図Ⅳ－2）

※NDB データでは、「入院外医療費」となっているものを「外来医療費」として取り扱う（件数等についても同様。）。

・年代別医療費を見ると、全被保険者数の 18.5%である後期高齢者が医療費（入院＋外来）の 44.7%を占め、前期高齢者と後期高齢者の合計額が、医療費の 68.4%を占める（被保険者数は全体の 37.5%）。（図Ⅳ－3）

表Ⅲ-1

2021年度 被保険者数（全保険者 島根県）

（単位：人）

	00～04歳	05～09歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	合計
被保険者数	24,126	27,578	29,244	30,466	25,647	27,162	30,991	35,819	40,715	45,550	37,995	38,314	41,978	46,901	57,278	36,627	32,630	28,777	15,951	5,507	886	660,142

※ NDBデータを基に作成

表Ⅲ-2

○2021年度 入院医療費（全保険者）

（単位：千円）

	00～04歳	05～09歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	合計
島根県(A)	2,272,256	438,289	564,632	603,804	754,839	1,099,472	1,258,852	1,727,132	2,164,006	2,773,828	3,209,840	3,976,728	5,782,769	9,385,715	15,185,567	12,981,827	14,490,346	15,685,750	10,483,332	3,735,095	614,554	109,193,860
全国(B)	1,904,456	431,047	520,803	617,674	494,143	683,620	973,790	1,221,015	1,491,534	2,165,480	2,589,217	3,317,852	5,041,391	7,690,314	13,185,712	11,507,054	13,698,191	16,113,262	10,975,393	4,293,207	681,919	99,597,073
A/B	119.3%	101.7%	108.4%	97.8%	152.8%	160.8%	129.3%	141.5%	145.1%	128.1%	124.0%	119.9%	114.7%	122.0%	115.2%	112.8%	105.8%	97.3%	95.5%	87.0%	90.1%	109.6%

※1 NDBデータを基に作成

※2 全国の医療費は1人当たり医療費に島根県の年齢階級別被保険者数を乗じて計算した数値

表Ⅲ-3

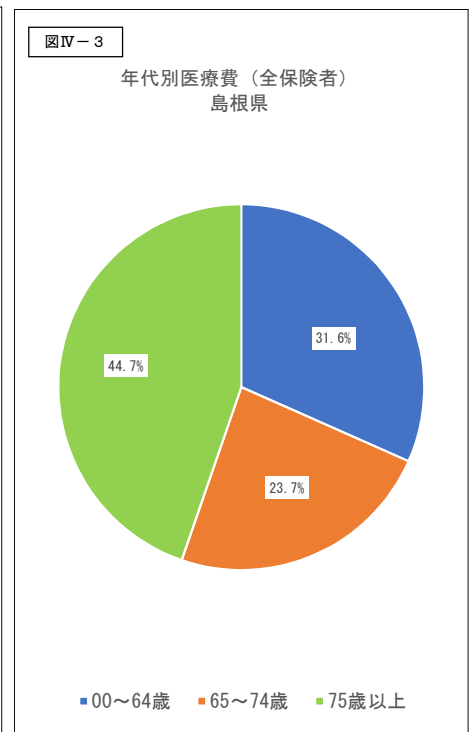
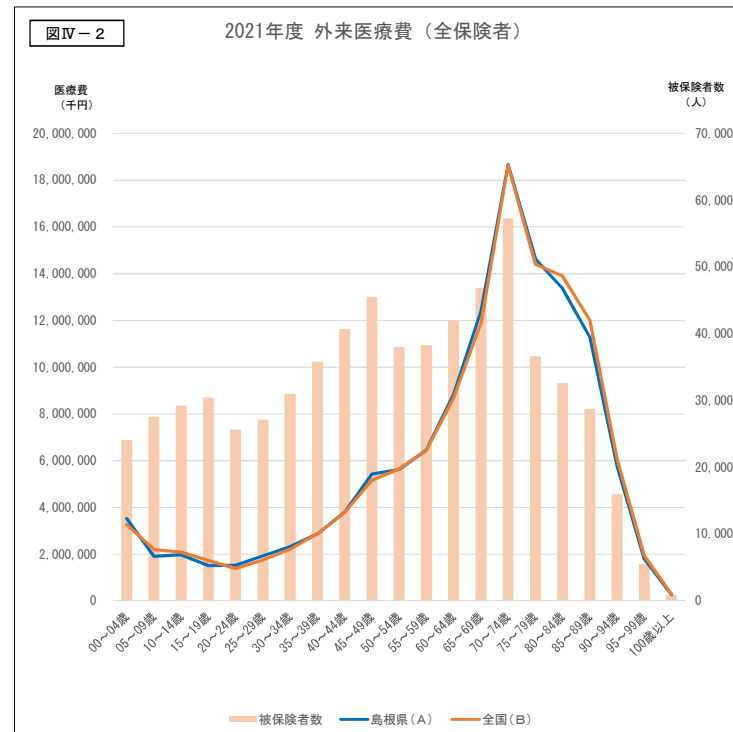
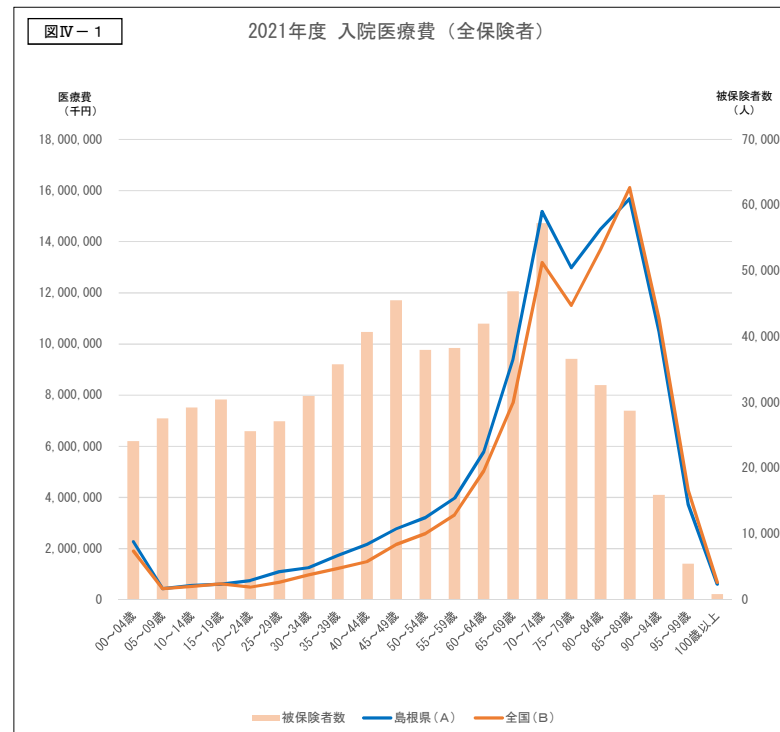
○2021年度 外来医療費（全保険者）

（単位：千円）

	00～04歳	05～09歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	合計
島根県(A)	3,529,556	1,907,161	1,976,083	1,513,067	1,527,989	1,932,436	2,324,819	2,870,952	3,801,642	5,426,991	5,623,183	6,460,174	8,852,306	12,392,450	18,673,057	14,632,296	13,370,700	11,284,421	5,774,263	1,796,575	271,879	125,942,000
全国(B)	3,266,818	2,202,312	2,082,426	1,730,236	1,385,021	1,751,353	2,217,029	2,878,734	3,784,067	5,167,920	5,646,953	6,429,207	8,696,141	11,881,014	18,633,905	14,402,276	13,889,740	12,006,346	6,073,221	1,929,594	295,904	126,350,217
A/B	108.0%	86.6%	94.9%	87.4%	110.3%	110.3%	104.9%	99.7%	100.5%	105.0%	99.6%	100.5%	101.8%	104.3%	100.2%	101.6%	96.3%	94.0%	95.1%	93.1%	91.9%	99.7%

※1 NDBデータを基に作成

※2 全国の医療費は1人当たり医療費に島根県の年齢階級別被保険者数を乗じて計算した数値



3. 島根県の疾病分類別医療費等

(1) 入院医療費及び件数（全保険者）

- ・入院医療費で多い疾患は、大分類では「循環器系の疾患」、「新生物」、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」、「神経系の疾患」、「精神及び行動の障害」と続いている。（表Ⅲ－４、図Ⅳ－４）
- ・入院医療費では「新生物」が45～49歳から多くなり、60～64歳から大きく伸びて70～74歳でピークとなり、その後は、被保険者数の減少に伴って少なくなる。（図Ⅳ－４）
- ・「循環器系の疾患」も60～64歳から大きく伸び、高齢化に伴い一人当たり医療費も伸びるため、被保険者数が少なくなっても全体の医療費は伸びて、85～89歳をピークにその後は減少に転じる。（図Ⅳ－４）
- ・「損傷、中毒及びその他の外因の影響」が70～74歳から多くなり、85～89歳をピークにその後減少する。中分類では「骨折」が大部分を占め、高齢化に伴い85～89歳以降では入院医療費に占める割合が循環器系の疾患に次いで2番目となっている。（図Ⅳ－４）
- ・入院医療費のうち、全国平均（※）と比較して多くなっているものは、「新生物」、「神経系の疾患」、「精神及び行動の障害」、「内分泌、栄養及び代謝疾患」である。（表Ⅲ－４、図Ⅳ－４、５）

※) 全国平均の医療費は、全国の各年齢階層別の1人当たり医療費に島根県の被保険者数を乗じて計算したもの。

- ・被保険者1人当たり入院医療費は55～59歳の年齢階層から「新生物」が大きく増加し、75～79歳まで最も

多くなっており、それより高齢になると減少している。その他の疾患は、全体的に年齢階層が高齢になるほど医療費は多くなる傾向があるが、特に「循環器系の疾患」、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」、「呼吸器系の疾患」の金額が大きく増加している。（表Ⅲ－５、図Ⅳ－６、７）

・被保険者１人当たり入院医療費のうち、全国平均を上回っているのは、「新生物」、「神経系の疾患」、「精神及び行動の障害」、「内分泌、栄養及び代謝疾患」である。（表Ⅲ－５、図Ⅳ－６、７）

・１人当たり入院医療費を年齢階層別で見ると、１０～１４歳、１５～１９歳で「精神及び行動の障害」が最も多くなり、２０～２４歳から３５～３９歳までは「精神及び行動の障害」と「神経系の疾患」が同額程度で多くなっている。

それよりも高齢になると４０～４４歳から７５～７９歳までの間は「新生物」が最も多くなり、８０～８４歳よりも高齢になると「循環器系の疾患」が最も多くなっている。（表Ⅲ－５、図Ⅳ－８～１１）

・入院件数についても、医療費と同様の傾向があり、「新生物」、「神経系の疾患」、「精神及び行動の障害」、「内分泌、栄養及び代謝疾患」が全国平均（※）を上回っている。（表Ⅲ－６、図Ⅳ－１２、１３）

※）全国平均の件数は、全国の各年齢階層別の１人当たり件数に島根県の被保険者数を乗じて計算したもの。

・入院件数では「新生物」と「循環器系の疾患」がほぼ同数となっており、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」と「精神及び行動の障害」がほぼ同数で続いている。「精神及び行動の障害」は、他の疾病に比べて１件あたりの金額が低いため入院医療費は他と比較するとそれほど多くない様に見えるが、２０～２４歳から５５～５９歳まで件数が最も多く、思春期から子育て世代にかけて他の疾病と比較して患者数が多いことがうかがわれる。（表

Ⅲ－6、図Ⅳ－12、13)

- ・被保険者1万人当たり入院件数は、全体的に高齢になるほど多くなるが、特に「循環器系の疾患」、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」及び「呼吸器系の疾患」の増加が特に多くなっている。(表Ⅲ－7、図Ⅳ－14、15)
- ・入院医療費は60歳代から急激に増加するが、その内容を見ると生活習慣病がかなりの部分を占めており、現役世代における生活習慣により、その増減が大きく左右されることが考えられる。

2021年度 被保険者数 (鳥根県)

被保険者数	00~04歳	05~09歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95~99歳	100歳以上	計
	24,126	27,578	29,244	30,466	25,647	27,162	30,991	35,819	40,715	45,550	37,995	38,314	41,978	46,901	57,278	36,627	32,630	28,777	15,951	5,507	886	660,142

(単位:人)

表Ⅲ-4

2021年度 疾病分類別入院医療費 (全保険者)

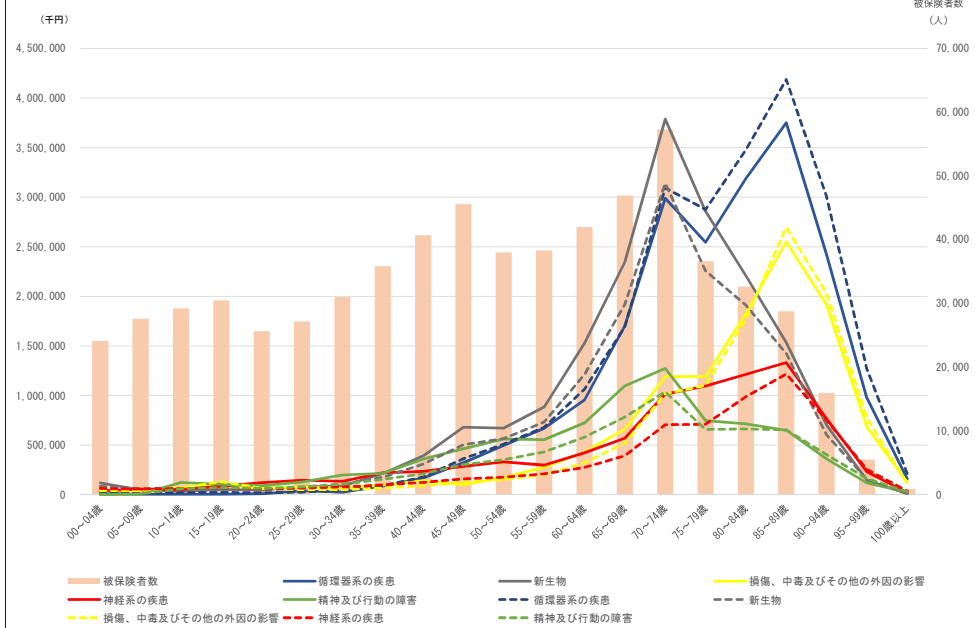
疾病分類名	鳥根県(A)	全国(B)	A/B	00~04歳	05~09歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95~99歳	100歳以上	有統計	
循環器系の疾患	12,815	9,947	128.1%	5,089	4,101	9,827	40,319	26,995	87,894	169,018	321,551	496,760	668,350	955,392	1,699,764	2,989,664	2,546,546	3,189,871	3,750,213	2,422,890	974,696	160,300	20,534	518	20,534	
新生物	120,509	47,677	252.9%	52,712	45,663	84,529	86,658	213,462	390,898	680,048	671,651	1,526,660	2,343,930	3,787,962	2,857,257	2,208,240	1,535,927	702,119	146,265	10,305	18,432	411	16,637	18,432	411	
損傷、中毒及びその他の外因の影響	34,464	47,948	71.8%	104,875	61,622	81,678	63,462	99,461	142,369	100,733	175,288	276,038	428,375	659,652	1,190,767	1,191,226	1,191,226	1,191,226	1,191,226	1,191,226	1,191,226	1,191,226	1,191,226	1,191,226	1,191,226	1,191,226
神経系の疾患	38,314	55,411	69.1%	53,653	86,462	122,098	146,970	134,520	220,739	233,845	284,984	330,551	298,445	422,550	570,197	1,015,023	1,095,775	1,213,351	1,332,471	766,782	233,176	18,549	8,673	379	18,549	
精神及び行動の障害	493	5,642	8.6%	123,359	105,616	89,551	127,118	198,594	215,085	359,730	464,528	561,565	554,050	724,186	1,097,123	1,272,368	747,244	714,905	648,910	361,903	118,049	25,535	8,515	603	25,535	
筋骨格系及び結合組織の疾患	36,662	17,217	212.9%	43,802	20,930	27,607	37,968	57,689	107,545	124,302	216,558	332,872	474,190	754,940	1,138,044	1,232,309	1,196,296	848,486	438,490	155,089	27,204	7,320	821	7,320	821	
消化器系の疾患	65,581	25,975	252.5%	40,910	25,327	45,915	50,414	73,756	84,208	146,766	181,482	209,983	216,911	337,652	530,638	754,355	609,849	810,572	880,713	676,026	228,742	37,316	6,033	156	37,316	
呼吸器系の疾患	208,672	18,909	1099.2%	30,528	62,390	62,139	38,179	51,607	34,355	51,154	54,247	48,128	90,178	99,295	302,507	494,243	551,130	804,780	1,148,722	894,258	379,505	58,712	5,482	920	58,712	
腎臓路生殖器系の疾患	46,027	19,634	234.3%	13,421	9,810	11,904	26,984	44,974	62,109	104,681	146,202	114,832	133,584	171,311	362,879	678,529	507,509	646,471	745,615	583,322	174,571	28,383	4,633	126	28,383	
内分泌、栄養及び代謝疾患	27,640	13,265	208.4%	9,933	14,561	24,704	11,842	21,542	35,633	62,476	66,306	112,472	136,400	234,995	383,536	391,860	491,379	651,826	510,678	205,084	45,430	3,502	423	45,430		
その他	1,681,080	182,662	920.5%	109,500	98,715	270,628	450,970	528,476	630,587	423,366	353,276	318,219	409,470	506,758	829,092	1,481,074	1,251,122	1,389,506	1,593,124	1,210,580	432,510	80,029	14,234	441	80,029	
全疾病	2,272,256	438,289	518.5%	603,804	554,632	1,099,472	1,258,852	1,727,132	2,164,006	2,773,828	3,209,840	3,976,728	5,782,769	9,385,715	15,185,567	12,981,827	14,490,346	15,685,570	10,483,332	3,735,095	614,554	109,193	860	109,193		

※1 NDBデータを基に作成

※2 全国平均の医療費合計は全国平均の1人あたり医療費を鳥根県の年齢階層別の被保険者数に乗じて計算したものと

図Ⅳ-4

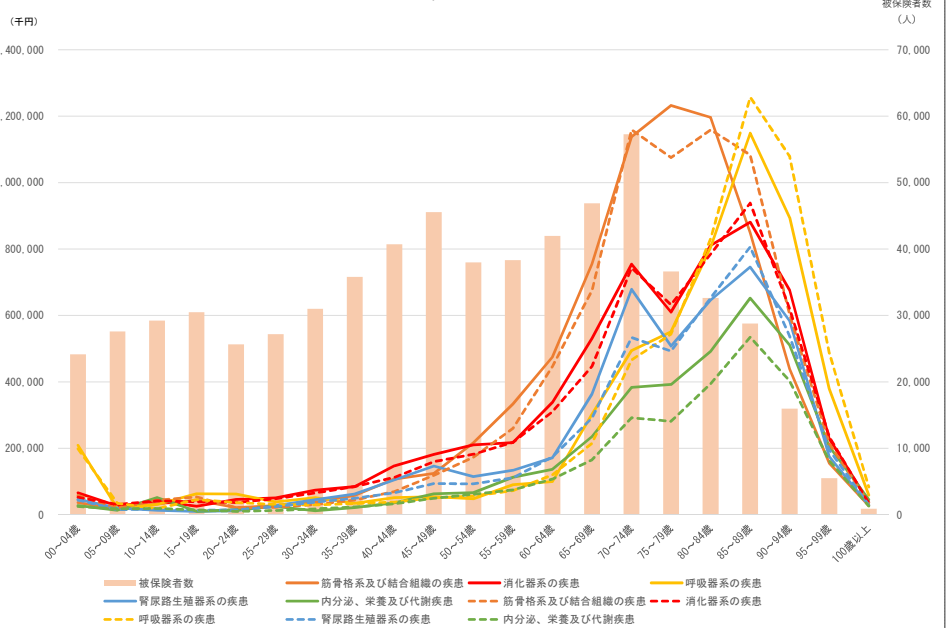
2021年度 疾病分類別入院医療費 (全保険者) 上位5



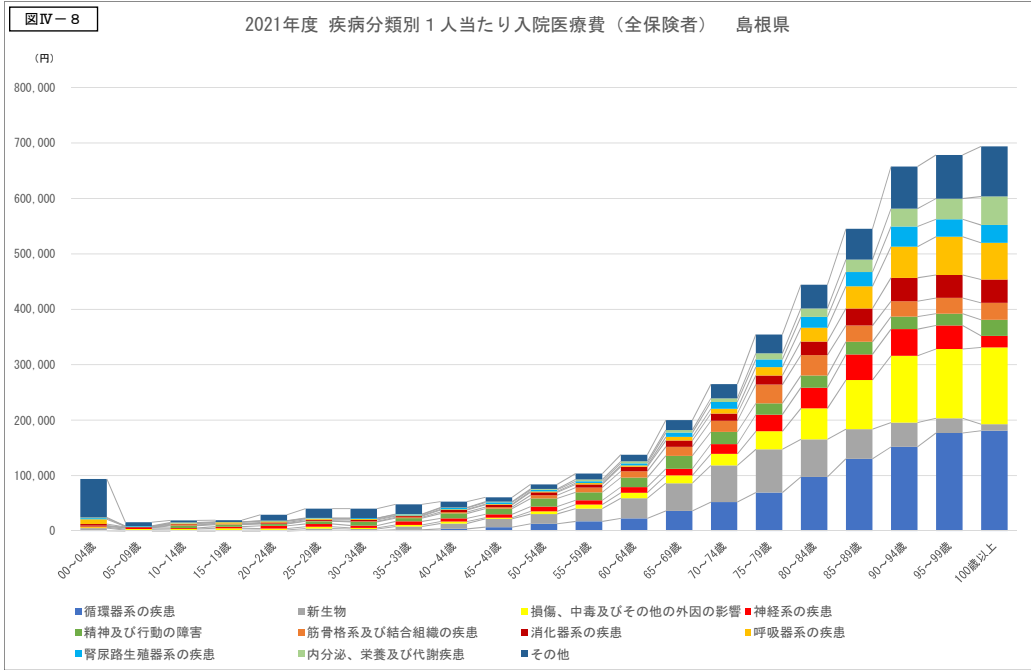
※患者数の折れ線グラフは直線が鳥根県、破線は全国平均

図Ⅳ-5

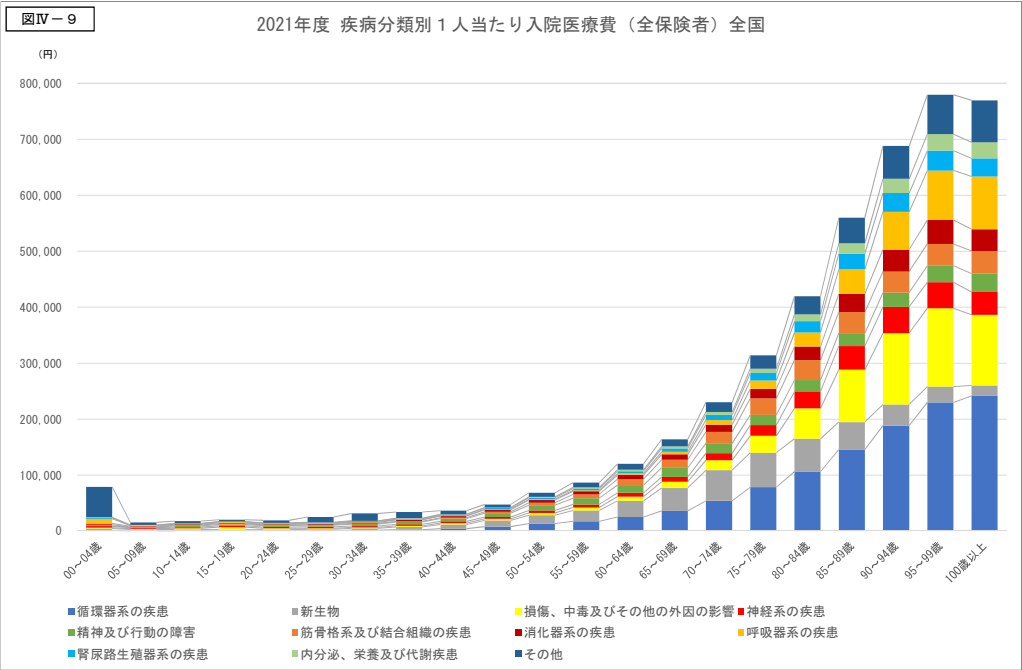
2021年度 疾病分類別入院医療費 (全保険者) 上位6~10



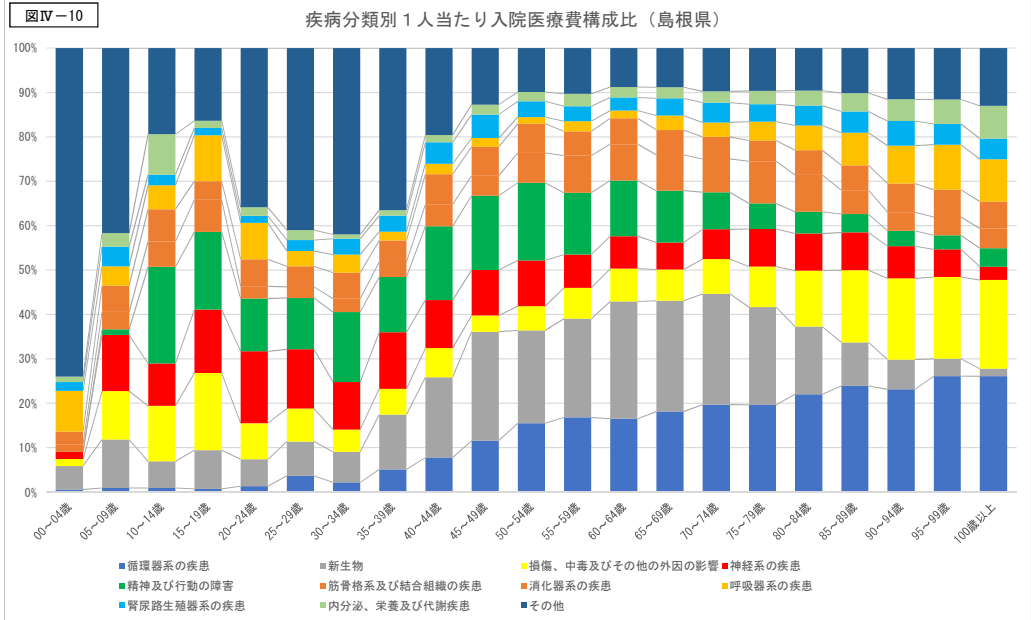
※患者数の折れ線グラフは直線が鳥根県、破線は全国平均



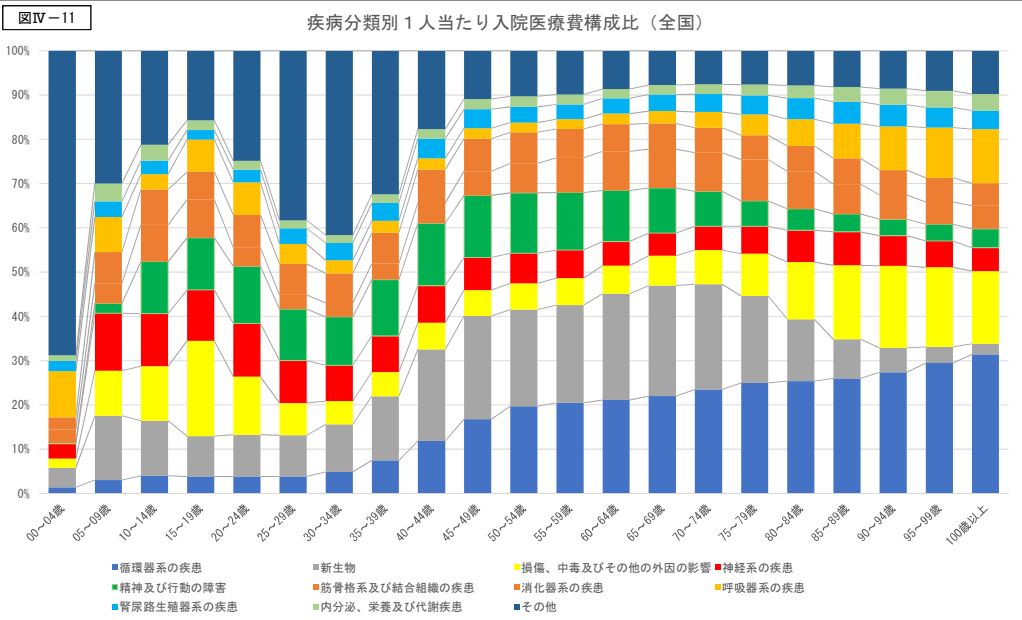
※NDBデータを基に作成



※NDBデータを基に作成



※NDBデータを基に作成



※NDBデータを基に作成

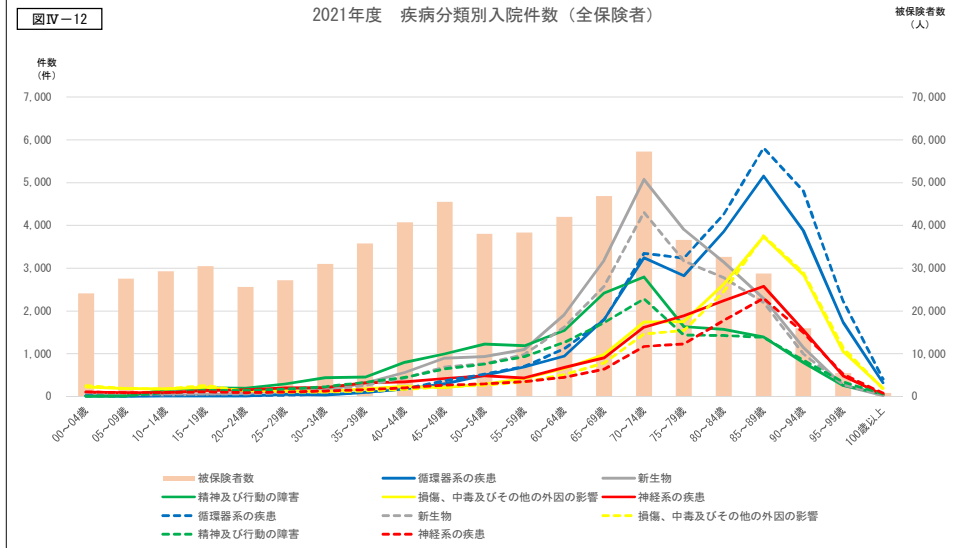
表Ⅲ-6

2021年度 疾病別入院件数 全保険者

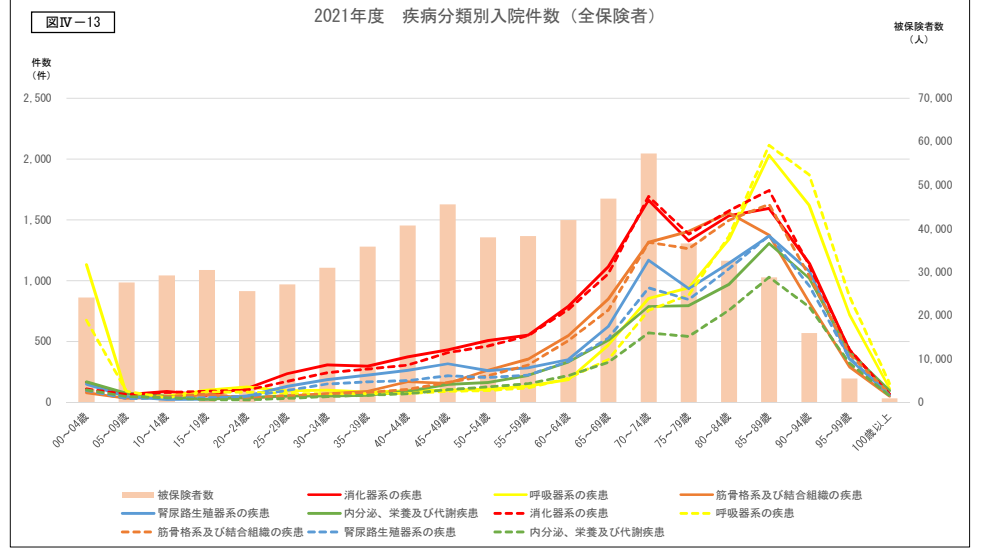
疾病分類名	島根県(A)	年齢別																			100歳以上	年齢計
		00~04歳	05~09歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳		
循環器系の疾患	18	14	27	27	21	31	53	98	183	370	523	704	1,116	1,791	3,347	3,235	4,257	5,811	4,807	2,230	406	29,073
新生物	98	60	56	58	57	91	153	259	436	594	769	988	1,622	2,578	4,307	3,170	2,776	2,199	997	276	31	21,668
損傷、中毒及びその他の外因の影響	224	190	177	214	136	128	119	179	237	205	294	420	654	979	1,740	1,749	2,628	3,735	2,850	1,054	194	18,106
精神及び行動の障害	101	87	86	140	153	199	210	324	341	421	488	436	681	902	1,622	1,888	2,238	2,578	1,551	482	41	14,970
神経系の疾患	107	89	95	110	90	105	130	160	202	265	294	347	449	600	1,171	1,231	1,779	2,298	1,494	523	75	11,655
消化器系の疾患	165	62	91	59	113	236	306	297	374	432	507	554	789	1,116	1,661	1,328	1,534	1,595	1,143	430	68	12,860
呼吸器系の疾患	111	64	81	91	100	172	244	273	306	408	463	548	764	1,058	1,692	1,383	1,573	1,742	1,124	434	66	12,698
筋骨格系及び結合組織の疾患	150	47	24	26	52	131	187	223	262	317	261	285	351	624	1,169	934	1,143	1,368	1,079	357	61	9,950
泌尿生殖器系の疾患	98	31	34	38	49	98	151	168	178	217	204	224	335	529	942	845	1,097	1,372	958	367	57	7,993
内分泌、栄養及び代謝疾患	169	74	49	25	38	53	51	59	91	147	164	221	331	511	788	795	969	1,307	1,020	413	96	7,371
その他	3,640	355	244	272	770	1,515	1,686	1,691	1,020	691	731	814	1,075	1,722	3,296	2,729	2,903	3,194	2,295	841	175	31,656
全疾病	4,016	883	878	1,123	1,124	1,953	2,747	2,853	2,777	3,608	4,174	5,216	7,757	11,664	19,811	17,273	21,032	25,764	18,529	7,606	1,269	162,958

※1 NDBデータを基に作成

※2 件数は、各年齢階層別の1万人当たり件数に島根県の被保険者数を乗じて1万で除して計算したもの



※件数の折れ線グラフは直線が島根県、破線は全国平均



※件数の折れ線グラフは直線が島根県、破線は全国平均

(2) 外来医療費及び件数（全保険者）

- ・外来医療費で多い疾患は、大分類では「循環器系の疾患」、「内分泌、栄養及び代謝疾患」、「新生物」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」、「腎尿路生殖器系の疾患」と続いている。（表Ⅲ－8）
- ・外来医療費では、15～19歳から45～49歳までは「精神及び行動の障害」が最も多く、50～54歳から「循環器系の疾患」、「新生物」、「内分泌、栄養及び代謝疾患」が大きく伸びて、特に「循環器系の疾患」が最も多くなる。また、「循環器系の疾患」は入院同様に85～89歳まで被保険者数が減少するにも関わらず、医療費が多いままの状態が続く。（表Ⅲ－8、図Ⅳ－16、17）
- ・外来医療費は、全体では全国平均とほぼ同額であり、その中で「精神及び行動の障害」だけが、全国平均を大きく上回っている。「精神及び行動の障害」は、10～14歳から75～79歳までの年齢階層で全国平均の1.4～1.5倍となっている。（表Ⅲ－8、図Ⅳ－17）
- ・75～79歳より高齢な年齢階層になるほど入院患者数の増加に伴い、被保険者1人当たり入院医療費は増加し、外来医療費は減少している。ただ、その中でも「循環器系の疾患」は、1人当たり外来医療費が増加し続けている。（表Ⅲ－9、図Ⅳ－18、19）
- ・1人当たり外来医療費は40～44歳の年齢階層から多くなり、1人当たり入院医療費は65～69歳の年齢階層から多くなっている。生活習慣病を中心に医療費が増加していることから、生活習慣病が進むに連れて、外来か

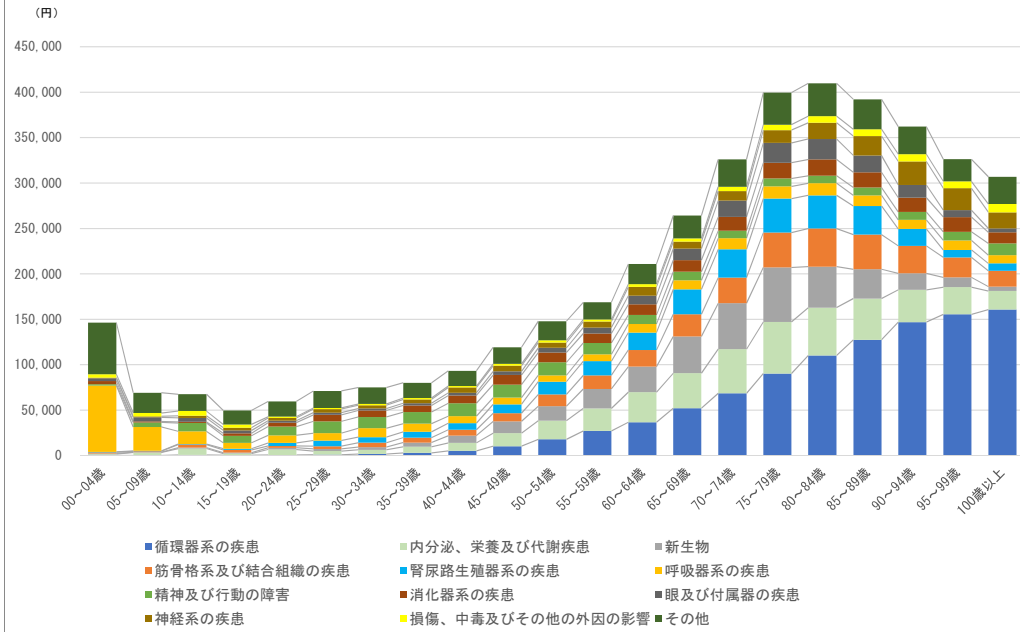
ら入院へと移っていると考えられる。(図IV-20、22)

・外来件数で全国平均よりも多くなっているのは、「循環器系の疾患」、「内分泌、栄養及び代謝疾患」及び「精神及び行動の障害」である。「循環器系の疾患」及び「内分泌、栄養及び代謝疾患」については、外来医療費は全国平均とほぼ同額であるが、件数は全国平均を上回っている。(表III-10、図IV-24、25)

・被保険者1万人あたり外来件数も1人あたり外来医療費と同様の傾向があり、高齢な年齢階層ほど減少するが、「循環器系の疾患」だけ増加し続けており、被保険者に占める「循環器系の疾患」の患者の割合が増加し続けているため、医療費も増加していると考えられる。(表III-11、図IV-26、27)

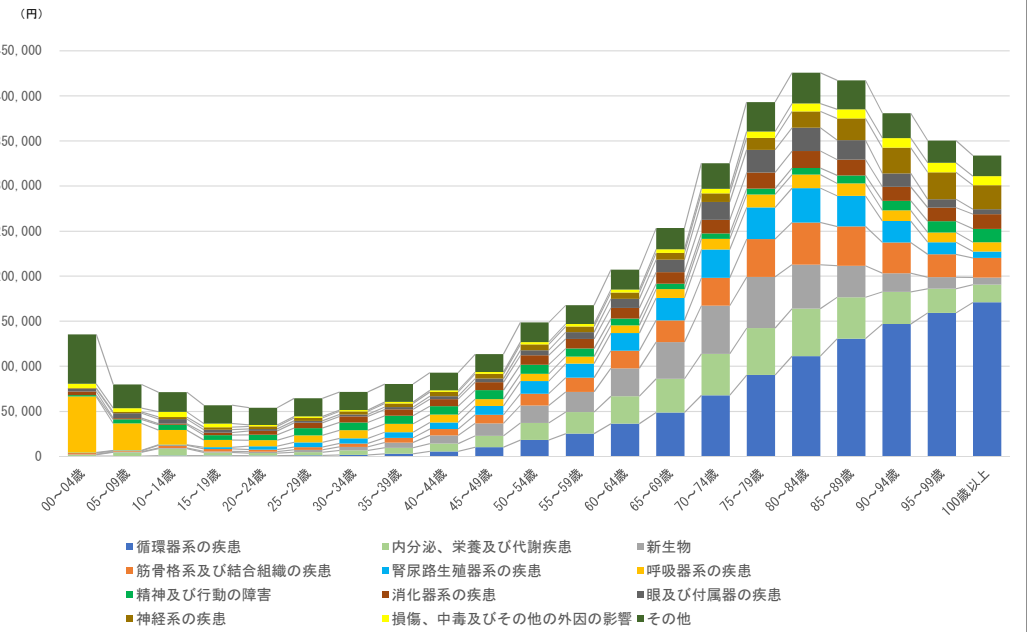
図IV-20

疾病分類別 1人当たり外来医療費（大分類） 島根県



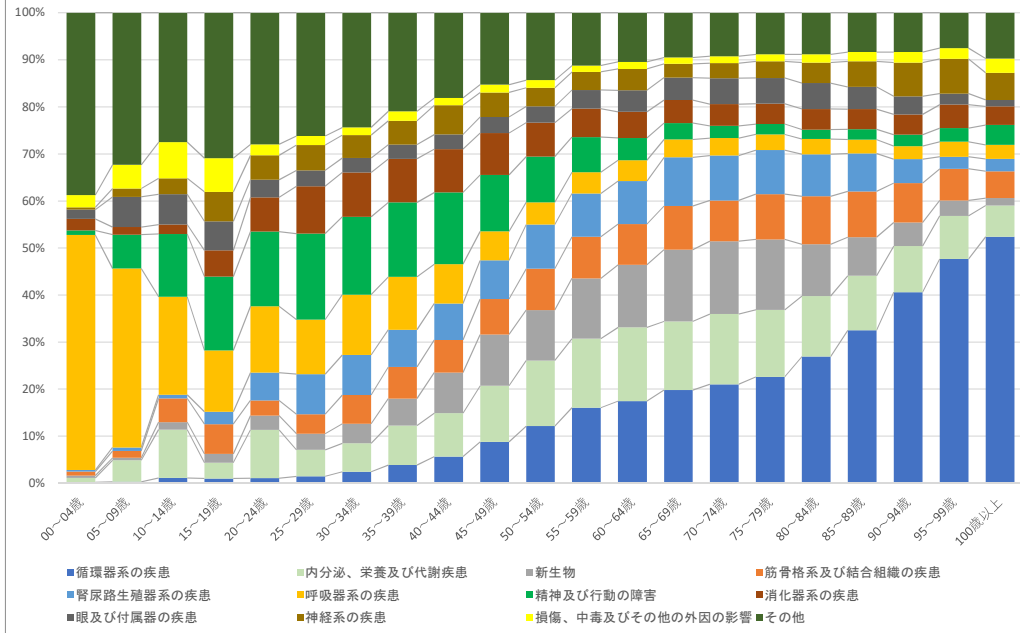
図IV-21

疾病分類別 1人当たり外来医療費（大分類） 全国



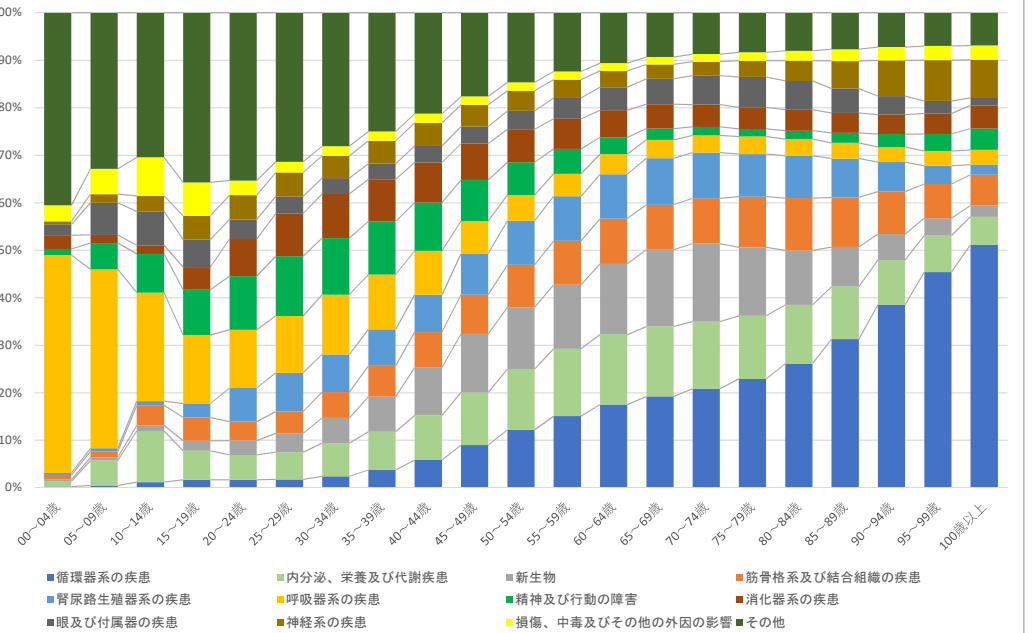
図IV-22

疾病分類別 1人当たり外来医療費構成比（島根県）



図IV-23

疾病分類別 1人当たり外来医療費構成比（全国）



4. 医療費等に関するまとめ

- ・被保険者1人当たりの入院外費用、入院費用は高齢になるほど増加し、特に入院費用の額は60～64歳から急激に増加する。
- ・疾病分類でみると「高血圧性疾患」（「循環器系の疾患」）、「糖尿病」及び「高脂血症」等（「内分泌、栄養及び代謝疾患」）が増加した後の年齢階層から「新生物」が大きく増加、さらに生活習慣病が進んで、「虚血系心疾患」、「脳梗塞」、「脳内出血」等のより重篤な「循環器系の疾患」や「腎不全」などに繋がり、高齢になるほど医療費が急激に増加する。
- ・「新生物」は、全国と比較して増加する年齢階層が早く、さらに入院医療費及び入院件数ともに全国よりも多くなっている。
- ・「精神及び行動の障害」は、入院・入院外ともに医療費及び件数が全国よりも多くなっており、特に思春期から子育て世代にかけて医療費、件数ともに全国平均を大きく上回っている。
- ・また、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」のうち「骨折」の医療費が前期高齢者の年齢階層から増加し、後期高齢者では「循環器系の疾患」に次いで多くなる。「骨折」の1人当たり医療費は、高齢になるほど右肩上がりで増加しており、また要介護・要支援状態となる原因疾患の上位であり、高齢者の生活の質の維持の面からも、骨折の予防が重要となる。
- ・医療費の多くを占める生活習慣病は60歳以降で大きく増加するが、その原因は、現役世代からの生活習慣等によるもので、保険者と事業所が協力しながらその対策を行う必要がある。